

平成26年度 食育推進事業 実施状況（平成26年12月末現在）

資料 1

《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

推進の柱	取り組みの方向性	ページ数
① 食を通じた健康づくりを 実践しよう	①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします	1
	①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます	5
	①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します	14
	①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします	15
	①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります	19
	①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます	22
	①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします	23
② 地域の食文化を伝えあおう	②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます	25
③ 地産地消をすすめよう	③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します	26
	③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります	26
④ 食品を選ぶ確かな目を持とう	④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます	32

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

- 具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します
- ・各団体や市のホームページに情報掲載
 - ・「食育月間」「食育の日」「食生活普及運動」での情報発信
 - ・スーパーマーケットでの啓発活動
 - ・市民講座、消費者向け講座の実施

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食の大切さやより良い食事に関する啓発 ・新規冊子の作成（4月）「高齢者のお口の中の変化」 	通年	平成26年5月新冊子発行 14500冊	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康づくり 市民のつどい	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会） 	6月7日	662名 （栄養士会） 豆つかみゲーム 大人 85名 子供 109名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
3	栄養ヘルスタイヤル	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。 	通年	集計中	宮城県栄養士会
4	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗で「しっかり朝食フェア」を実施し朝食をとる大切さをお知らせする。 	店舗で「しっかり朝食」、「新学期準備セール」・・・サブタイトルで「1日の始まりを朝ごはんで元気に」の2回実施し朝食をとる大切さをお知らせしました。今年度は冬休み明けにもう1回朝食テーマが入ります。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）	
5	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食情報の提供 	通年		日本チェーンストア協会東北支部
6	消費者市民講座 地域の食文化資源を活用した食の学び	一般市民	<p>講話：仙台の食文化（日本最初のみそ工場御塩噌蔵、仙台味噌、仙台白菜、伊達家養種園、これまで、今、これからについて） 実習：白菜を使ってキムチ作り 講師：食の学人の会 高橋信壮氏</p>	12月9日（火）	参加者 9名	仙台・みやぎ消費者支援ネット
7	消費者市民講座 食品ロスの問題を考える講座	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・講話：「私たちの食事を見直そう！」食品ロス削減に向けて食べ物にもったいないをもう一度！ 講師：東北農政局事業戦略課 高橋清昭氏 	12月15日（月）	参加者 12名	仙台みやぎ消費者支援ネット

8	食育の日（毎月19日）アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して、地産地消の野菜でカルシウムたっぷり（小エビ、スキムミルク）のおこのみ焼きを販売	10月26日（日）	食生活改善員20名参加 おこのみ焼き販売 400枚	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
9	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食品に関する様々な情報を市民に発信する。 ○消費生活講座の開催	11月18日	テーマ：「今こそ知りたい！食の安全・安心と食品表示の話」 参加者数：79人	市民局
10	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	1回	平成27年1月26日～30日まで実施予定。給食メニューは、同日、レシピ提供校でも提供される。資料展示は1階ギャラリーホール。	健康教育課 教育局
11	仙台市ホームページ「杜の都のわくわく食育ねっと」	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
12	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
13	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・総合支所に設置	各区保健福祉センター 総合支所
14	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、レシピの配布等による普及啓発 ・食育月間に、児童館・児童センター、大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示。（泉区）	6月 9月 毎月19日	各区・総合支所ごとに、より広く啓発できるよう、関係方面と連携しながら実施している	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

- ・ホームページに情報掲載
- ・子育てについてのイベントなどで情報発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	随時更新		子供未来局
2	健診、教室等での情報提供	一般市民	・幼児健診、離乳食教室、幼児教室、訪問栄養相談などにおいて、親子の食生活について情報提供	通年	各区役所・総合支所ごとに通年実施	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

3	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者とその子ども	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援団すこやか2014, 仙台市PTAフェスティバルでブースを出展。子育て世代へ向けて情報発信。 ①子育て応援団すこやか2014…「塩eco」キャンペーン（フライドポテトの試食, 塩分クイズ, チラシ配布等） ②仙台市PTAフェスティバル…「塩eco」クイズ, 塩分診断など 	①10月18, 19日 ②11月9日	①のべ300名 ②のべ850名	健康福祉局
4	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	<ul style="list-style-type: none"> 「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理, 手作りおやつを紹介 葉や土がついたままの野菜や芋を展示 災害時に役立つ情報（紙皿を広告紙で作る方法） 一日に必要な野菜, 朝ごはんのメニュー例をフードモデルで展示 	10月29日	514名参加	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより, 市民の食育活動への参加を促します

- ・レシピ, メッセージ, 写真などの募集
- ・スーパーマーケット, 飲食店等からコンテスト入賞作品等の情報を広く発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア集作成	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し, そのアイデア集を作成し, 組合員に配布した。	2014年4月～12月 1回	20人	宮城生活協同組合連合会（あいこープみやぎ）

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり, 活動についての情報を広く発信します

- ・「仙台食育推進隊」の登録推進, 活動状況の発信
- ・自主活動に取り組む市民の育成と活動支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集, 登録。また, 活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	登録数 19団体・個人	健康福祉局
2	「仙台食育推進隊」交流会	登録団体・個人	・交流会を開催し, 情報交換やネットワークを広げ, 活動の一助とする	未定		健康福祉局
3	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供, 助言 ・推進員育成の支援 	通年 育成研修会 2月12日 予定 （秋保） ・育成支援4回 ・相談報告9回	23名	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城・秋保総合支所
4	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動ができる食育サポーターを養成する ・今年度は, 区中央市民センターと共催で, 既存のグループ(もぐもぐ, ラッタッタ, 郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。 	10月 1(4回)コース	参加実人数13人, 延べ人数40人 追加人数 ・もぐもぐ 4人 ・ラッタッタ 2人 ・郷土料理つたえ隊 2人	宮城野区保健福祉センター

5	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・食育サポーターと食育関係機関との調整 ・食育サポーターの研修や活動の場の提供, 紹介等 	①スキルアップ講座 1回(10月) ②親子料理教室での補助(田市市C) 1回(10月)	①参加人数 12人 ②食育サポーター 2人	宮城野区保健福祉センター
6	「いずみ食育の輪」の支援	登録団体・個人	①「いずみ食育の輪」(食育活動を行うボランティア団体等)の活動をホームページや食育月間パネル展等で紹介する ②「いずみ食育の輪」の団体が主体的に開催している交流会への支援 ③各団体の活動の充実をはかるための情報交換・研修会の開催	①ホームページ 随時更新 ②5月20日 ③研修会1回予定	②自主交流会参加 32名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます
 ・大学生、専門学校生等自らによる食育推進活動支援や、協働企画による、イベント、コンテスト等の実施

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育推進委員会の設置・実施による東北地区の食育推進活動	大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生協の食育推進をどうするかを検討。 ・毎回、手作りのおかずを持ち寄り、「弁当の日」を実践。 	年3~4回 6月・9月・3月		宮城県生活協同組合連合会(大学生協)
2	大学との連携による若い世代への食育推進事業	大学生	<ul style="list-style-type: none"> ・大学に対して、平成25年度まで実施していた「大学生による食育プロジェクト」で作成した媒体等の情報提供を行い、大学での活用につなげる。 ・成人式等のイベントの場で、同年代への食育啓発をする。 	2月末予定	市内大学・短期大学・専門学校等に媒体を送付	健康福祉局
3	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターとホームページによる健康づくりの普及啓発 ・協働による事業実施(13校と企画) 	3回 5校延べ6回	31か所へ送付 集団指導438名	青葉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します
 ・家庭における食生活の実態把握

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長・体重・肥満度・問診項目、個別相談の結果などを各區で集計	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	随時	離乳食教室のアンケート調査を毎回実施	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします
 ・離乳食、幼児食講座、試食会、料理教室
 ・献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育演劇チームによる公演	幼児・児童保護者	・幼稚園などで食育劇を公演	予定なし		仙台市地域活動栄養士会
2	小さな子どものお食事&クッキング	子育て中の親	・託児つき料理教室、栄養講話 ・「お手軽イタリアン」全4品	10月28日 (金)実施	大人18人 子ども15人参加	仙台市地域活動栄養士会
3	ガス局料理教室への講師派遣	親子	・親子の料理教室と栄養講話	12回		仙台市地域活動栄養士会
4	子育て応援キッチン	子育てサークル親子	・講話と簡単な調理実習(ボランティア)	年1回、11月10日実施	若林区下荒井公会堂 大人10人・子ども13人	仙台市地域活動栄養士会
5	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員を通して働きかけ、各園の状況に合わせて実施 ・食に関心を持つ(食材の工夫、栄養のバランス)	6月 2月	保護者40名 親子30組	幼稚園 私立幼稚園連合会

6	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月～9月 62回	417名	保育所 保育所連合会 子供未来局
7	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児童家庭	・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年	各施設の状況は、3月に集約予定。 リーフレットは、3月に配付予定	保育所 保育所連合会 子供未来局
8	親子調理活動【新規】	保育所入所児童と保護者	保育参観や懇談会等で調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、食への興味や関心を深める。	通年	各施設の状況は、3月に集約予定。	保育所 子供未来局
9	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	実施回数38回	参加者 延べ 829名	各区保健福祉センター 総合支所
10	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	4回 21組	青葉区保健福祉センター
11	ママカフェ【新規】（地域子育て支援事業）	幼児とその母親	月1回実施の幼児を持つ母親の企画する事業と連携し、親子クッキングの実施や食育情報の提供を行う。	概ね月1回 5月2日、6月4日、7月4日、9月5日、10月3日、11月7日	5月：10組 6月：21組 7月：30組 9月：36組 10月：55組 11月：64組 （うち調理実習10組）	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します
・健康実態調査の実施とその結果を活用した健康教育

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	平成24年～平成28年 平成26年度健康教育研修会 8月7日	教職員、市民を対象とした健康教育研修会（運動習慣・生活習慣・食習慣）を実施した。（延べ252名参加）健康教育推進校として、今年度小学校2校、中学校2校を指定し、プランの推進を図っている。	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5月～7月	小・中・高校生を対象に調査を実施。報告書にまとめ、各校へ配布予定。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

・「食に関する指導の全体計画」「学年毎の年間指導計画」に基づく、学校の教育活動全般で食育推進

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・平成25年度に改訂された「食に関する指導の手引き」をもとに、「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。	通年	改訂された指導の手引を基に各学校において食に関する指導の全体計画と年間計画の見直しを図っている。	小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	・給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 ・「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。	通年	各校の指導計画により、担任や栄養士を中心に食育を実施している。	小・中学校 教育局
3	「給食週間」	小・中学生	・児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。	1月	今年度も各学校・課で実施予定	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

- ・給食試食会、親子料理教室の実施
- ・保護者懇談会、PTA活動などの場で情報発信
- ・献立表、給食だよりでの周知

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など	通年 各学校、学年による		仙台市PTA協議会
2	保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	・給食だよりで食育活動報告を載せ、保護者に周知する ・懇談会や給食試食会を実施する	通年（懇談会や試食会は随時）		保育所 保育所連合会 子供未来局
3	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	・献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 ・食物アレルギーへの対応について周知する。	通年	栄養教諭・学校栄養職員が内容を工夫し、食育の推進やアレルギー対応等について啓発に努めている。	小・中学校 教育局
4	「望ましい生活習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	・保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。	通年	行事や講話の他に児童・生徒がセルフチェックを行う。機会を設け、指導・啓発を行っている。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

5	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	6月12日	136名参加 食物アレルギーを有する乳幼児、児童生徒への仙台市の取組の説明と専門医の講演、希望者に対する相談会を実施した。	子供未来局 教育局
6	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	8月7日	127名参加。「お弁当の日」提唱者の竹下和男氏を講師として研修を開催した。	教育局
7	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者とその子ども	・子育て応援団すこやか2014、仙台市PTAフェスティバルでブースを出展。子育て世代へ向けて情報発信。 ①子育て応援団すこやか2014…「塩eco」キャンペーン(フライドポテトの試食、塩分クイズ、チラシ配布等) ②仙台市PTAフェスティバル…「塩eco」クイズ、塩分診断など	①10月18、19日 ②11月9日	①のべ300名 ②のべ850名	健康福祉局

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

- ・学校健診の場で指導
- ・嘱託歯科医による講話など

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を継続的に実施。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図った。	平成26年6月～10月	糖尿病精密検査実績28名 生活習慣病検査実績230名 貧血検査実績133名	仙台市医師会
2	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年		仙台歯科医師会
3	支援学校での摂食指導	児童・保護者職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	3回		仙台歯科医師会
4	仙台市PTAフェスティバルへの参加【新規】	児童・保護者	・健康的な食生活についての啓発	11月9日		仙台歯科医師会
5	子育て講座への講師派遣	就学児の保護者	・就学時健診時に保護者に対する栄養講話	11月2回実施		仙台市地域活動栄養士会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

- ・教諭、栄養士、保育士等食育担当者の研修会や実践研究
- ・食物アレルギーについての助言

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き(改訂版)作成にあたり、協力した。改訂版は各学校へ配布し、指導・助言をしている。	通年		仙台市医師会

2	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。 	9月12日	123名	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や講義の研修を通して、食育やアレルギー対応への理解を深める。 	10月7日・8日 11月11日・12日	調理実習：60名 講話：62名	保育所 保育所連合会 子供未来局
4	業務研修	保育士	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内で食育や個別対応の研修を実施し、職員間での共通理解を深め実践につなげる。 	通年	336人	保育所 保育所連合会 子供未来局
5	食えることが楽しくなる食育	教諭・職員	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける 	5月～3月（月1回）	毎回11名	幼稚園 私立幼稚園連合会
6	食物アレルギー研修会	学校職員	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する 	5月8日 通年	183名参加。学校の事例発表、専門医による講話。指導主事による訪問研修26校。	小・中学校 教育局
		保育所職員	<ul style="list-style-type: none"> ・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する 	6回	4保育所（園） 68名	保育所 子供未来局
7	食育講演会	学校職員	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。（学校職員対象の研修会を市民にも開放） 	8月7日	127名参加。「お弁当の日」提唱者の竹下和男氏を講師として研修を開催した。	小・中学校 教育局
8	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。 	通年 （2月に研修発表）	ブロック毎にテーマを設定して実践活動を行う。2月に研究発表会を行う。	小学校 （仙台市小学校教育研究会学校給食部会）
9	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。 	通年	地場産品を取り入れた献立の開発や食育の授業づくりに関する研修等を実施。	小・中学校 （仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会）
10	食育情報交換会	児童館・保育所・せんだい保育室・幼稚園・小中学校の職員、食生活改善推進員等	<ul style="list-style-type: none"> ・事例発表、情報交換等 	1回	40名 栄養士、保育士、調理員、教諭など、様々な職種が参加。	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所

11	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	学校と保健福祉センターが、児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みについて情報交換し、どのような連携が必要なのか等を話し合う。	前期 7月14日 実施 後期 2月中の予定	前期 16校参加 メディアによる健康への影響についてとり上げ、子どもたちの現状と対策について話し合いました。	若林区保健福祉センター
12	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の職員	・講演、事例発表、情報交換	「噛むこと」をテーマに食と歯の健康づくり研修会。1/23実施予定		太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

- ・母子健康手帳交付時、母親教室、両親教室での相談・指導
- ・育児教室、幼児健診での啓発、相談・指導
- ・離乳食教室、訪問栄養指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行っている。また支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導している。	通 年	妊婦健診実績（～11月） 延べ 70,322名	仙台市医師会
2	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	通年	母子手帳交付説明会 84回 母親教室・両親教室（食生活指導）35回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	9回	延べ146件	宮城野区保健福祉センター
4	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施している。	通 年	乳児健診実績（～11月） 17,516名 1・6、3歳児健診実績 ⇒年度末報告	仙台市医師会
5	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	通年	開催回数 173回 対象者数 6873名	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
6	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	6回	99名	青葉区保健福祉センター
7	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	通年	開催回数 49回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

8	歯ッピー教室(1歳児 歯科保健教室)にお ける啓発 【新規】	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発と個別相談	年6回(奇数月開 催) 集団指導は9月 より	回数：4回 個別相談件数：22件 (集団指導 延23名)	宮城総合支所
9	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	月1回 9回実施	参加延べ数 199組 個別相談 17件	泉区保健福祉セ ンター
10	1歳6か月児健診, 2歳6か月児歯科健 診, 3歳児健診にお ける啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発(2歳6か月児 歯科健診集団指導時：太白)	通年	1歳6か月児健診 297回 2歳6か月児歯科健診 162 回 3歳児健診 165回	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
11	育児相談	乳幼児の保護 者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応について の確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援	①高砂保健セン ター 9回 ②岩切保健セン ター 9回 ③あったかフェ スタ 1回	①延べ157件 ②延べ124件 ③延べ 15件	宮城野区保健福 祉センター
				①所内8回 ②六郷保健セン ター9回 ③七郷保健セン ター9回	①95件 ②38件 ③34件	若林区保健福祉 センター
				茂庭台市民C 3 回	栄養相談 11件	太白区保健福祉 センター
				所内で偶数月開 催 年6回	栄養相談 88件	泉区保健福祉セ ンター
12	育児相談 (幼児健診事後)	乳幼児の保護 者	・1歳6か月児健診, 2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期 の健康的な食生活についての講話と相談	7月, 12月	7月 4名 12月 8名	泉区保健福祉セ ンター
13	訪問栄養指導事業	おもに妊産 婦, 乳幼児の 保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	妊産婦 1件 乳児 500件 幼児 14件	健康福祉局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
14	食生活・栄養相談	乳幼児の保護 者及び妊産婦	・電話, 来所による栄養相談	通年	妊産婦 42件 乳幼児 733件	各区保健福祉セ ンター 総合支所
15	訪問相談	地域の子育て 家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う	通年(4月~12 月)	104件	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

・地域の育児サロン、保育所、幼稚園、児童館、社会学級等と連携した食事相談、講座

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える	通年	各施設の状況は、3月に集約予定。	保育所 子供未来局
2	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う（各小学校の社会学級やPTA等に委託）	6月～12月 52校実施予定	（H26年12月末までの実施状況は未集計）	教育局
3	親子食育講座への講師派遣	小学生とその保護者	・調理実習と食育講話	8月2日エルソール男女参画企画親子食育講座実施 12月6日原町小学校親子食育講座エコ・クッキング実施	8月2日 親子20組 12月6日 親子20組	仙台市地域活動 栄養士会
4	児童館などと連携した健康教育、食育講座	乳幼児の保護者	・生活リズムや食習慣についての講話や個別相談、情報提供、資料配布、情報交換の場の提供	通年	児童館での栄養講話 1回 12組	宮城総合支所
5	若い年齢層への健康教育	子育て世代	・離乳食、食育、生活習慣病などをテーマとした健康教育	乳幼児 6回 学童期保護者向け1回	（乳児5回41組 幼児1回子ども113名大人58名（①-B-2再掲） 就学児健診の子育て講座121名	太白区保健福祉センター
6	食育講座	育児グループ 幼稚園児の保護者	食習慣や生活のリズムについての講話と、調理体験	8月食育講座 9月運動と食事づくり	8月1回 7人 9月1回 14人	秋保総合支所
7	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	10月	14名	泉区保健福祉センター
8	児童館などと連携した健康教育	小学生	・飲み物の糖分についてのポスターを児童館・児童センターに配布し、館内に掲示。	8月	児童館・児童センター 25施設	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます
 ・民生委員、保育所、幼稚園、児童館職員等を対象とした研修、情報交換会

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	児童館・保育所・せんだい保育室・幼稚園・小中学校の職員、食生活改善推進員等	・事例発表、情報交換等	1回	40名 栄養士、保育士、調理員、教諭など、様々な職種が参加。	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の活動についての情報提供および情報交換を行う 1回目のワールドカフェでの試食提供により、地域子育て支援事業での食育活動についての情報提供。	年1～2回 1回目 5月22日	29機関 38名参加	宮城総合支所
3	食育担当者情報交換会《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、学校の職員	・講演、事例発表、情報交換	1/23実施予定		太白区保健福祉センター
4	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。	8月	1回 出席者 6名	秋保総合支所
5	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 ①地域子育て交流会で「ぼた餅（おはぎ）をつくろう会」を実施 ②いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	①9月5日 ②10月29日	①11団体 大人22名子供11名参加 ②514名参加	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

- ・学生食堂での取り組み
- ・若い世代向けの資料の作成と活用
- ・健康情報の提供や、イベントでの啓発等

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールカードによる食事を摂る取り組みの推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する	年刊食堂利用定期券のため通年		宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
2	管理栄養士による「食育講演」の実施	大学生	・大学生協の食堂で使用している「三群点数法」を活用しながら、大学時代における食生活の重要性を伝える場面を設ける。	2回程度を予定	12月 1大学約270名参加	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
3	大学との連携による若い世代への食育推進事業	大学生 大学の健康管理部門	・大学が主体的に健康づくりや食育に取り組む仕組みづくり。 ・平成25年度まで実施していた「大学生による食育プロジェクト」で作成した媒体等の情報提供を行い、大学での活用につなげる。 ・大学関係者を対象として健康づくりおよび食育の取り組みに関する情報交換会を実施する。	・大学訪問2回（今後も訪問予定有） ・情報交換会2月18日実施予定	大学との連携により情報交換会を実施	健康福祉局
4	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター）の発信	3回	31ヶ所に送付	青葉区保健福祉センター
5	地域健康教育（出前健康教育，出前講座，宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	2回 ①7月 ②10月	①中高生56人，保護者16人 ②小学生5人，保護者10人	宮城野区保健福祉センター
6	食育講座	小・中・高校生及び保護者	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	8/17 小学生 90名 10/15 小学生及びPTA 140名	若林区保健福祉センター
7	食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」	若い世代 子育て世代	・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・保育所，幼稚園，学校，大学等に標語の浸透，ポスターの掲示 ・レシピ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等） ・幼稚園，大学を中心に、定期的に、朝食摂取と朝食の内容充実をテーマとした情報紙を配布し、啓発する【新規】	・大学1回，小学校2回 ・ポスター送付5月 ・レシピ集活用児童館2回，大学1回 ・情報紙年5回配布	・学生食堂での発資料配布135枚，小学校での講話と調理実習述べ児童80名保護者9名 ・ポスター：幼稚園，保育所，児童館，小・中学校，市民センター計136施設，市内のローソン104店舗に送付 ・児童館延15組，大学5名 ・4号まで幼稚園16園，大学2校に延べ13,174枚配布（見込み）	太白区保健福祉センター
8	大学生を対象とした食育	大学生等	①食育月間に合わせ，朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学生協まつり等で食育のブースを設置し，間食カロリチェック，クイズ等の食育体験の場を設置する。あわせて栄養相談，情報提供も行う。 （大学生生活協同組合との協働により実施）	①6月 ②10・11月	①大学・短大4校，専門学校4校 ②大学・短大4校 計379名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します
 ・事業所等での生活習慣病予防に関する情報提供、健康教育、相談会（商工会・業種別組合・消防団・事業所等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校職員	・職員の健康意識の調査や、職員向け研修会の実施	0回		青葉区保健福祉センター
2	事業所での健康教育		・事業所で働く方を対象とした生活習慣病予防のための健康教育の開催	未実施		宮城総合支所
3	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・働く方を対象とした健康教育 ・顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	タクシー 10回 理美容 9回	タクシー 延べ60事業所 理美容 延べ525店舗	宮城野区保健福祉センター
4	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	10月31日	中央卸売市場管理課の企画により実施。市場内各社より16名参加。	若林区保健福祉センター
5	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・H23～25に健康教育を行った事業所へ出前講座の案内を送付し、出前講座の申込を募る	事業所への健康教育5回	延べ213名	太白区保健福祉センター
6	働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	・消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供 ・商工会及び小中学校父兄向けに資料での情報提供 ・旅館、企業を巡回しての健康管理担当者からの情報把握と食情報の提供	9月 1回 2月 1回	60名	秋保総合支所
7	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	・地域のスーパーマーケットとの連携による、体験型生活習慣病予防イベント	9月18日	イベント参加者 延べ1,544名 うち栄養コーナー延べ462名 栄養相談21件	泉区保健福祉センター
8	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携により、健康教育の実施	1回	企業の夏季安全大会の場を利用して実施 109名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

・低栄養予防、生活習慣病予防のための講習会、健康講座（町内会・老人クラブ・社会福祉協議会等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活改善普及事業 （野菜を食べよう料理講習会）	一般市民	・簡単で野菜を多く取り入れた料理を普及し、糖尿病などの生活習慣病予防のための食生活改善を促すための講習会を実施する	1月21日（水）	秋保幼稚園保護者を対象に実施予定	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
2	ヘルスメイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第2弾）	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに、料理講習会を実施する。 ・お隣さん、お向かいさんを訪問し、塩分測定器「減塩くん」を使い、みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	2月5日（木）	宮城総合支所管内で実施	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
3	肥満予防講習会	一般市民	・「適正体重を維持しましょう（自分の適性体重をしりましょう、週1回は体重を測定しましょう）」の内容で講習会を実施	1月30日（金）	秋保総合支所管内で実施	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
4	地域健康教育 （出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等での、低栄養予防、骨粗しょう症予防、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	実施回数18回	参加延べ人数405名	各区保健福祉センター 総合支所
5	生活習慣改善教室	一般市民	・生活習慣病予防のための教室	11月27日 1回	健康相談会として実施 56名参加	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

- ・特定健康診査、基礎健康診査後の事後指導、特定保健指導
- ・健康づくり相談・講座、訪問指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導や生活記録から個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、運動・食事指導を中心とした生活習慣改善の指導を実施している。また、生活習慣病を原因とした慢性腎臓病が増加していることから、血清クレアチニン検査結果より、疾病の早期発見・早期治療に努めている。 ・食育指導を実施するために、保健指導の実施率を向上させる必要があることから、制度自体の検討を行った。 	平成26年7月～平成27年3月	特定健診実績（7～10月）64,258名 *市国保 基礎健診実績（8～10月）30,676名 動機付け支援実績（7～11月）273名	仙台市医師会
2	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・集団または個別による生活習慣病予防のための支援 	8月～	82名（11月末）	健康福祉局
3	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・集団または個別による生活習慣病予防のための支援 	11月～	10件	各区保健福祉センター 総合支所
4	あおば健康づくり講座	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談 	9回	講話4回40名 個別相談35名	青葉区保健福祉センター
5	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	<ul style="list-style-type: none"> ・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施 	未実施	未実施	宮城総合支所
6	健康づくり相談	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのための食生活相談 	6回	延べ34件	宮城野区保健福祉センター
7	健康生活講座	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりのための食生活講話、演習 	1回	参加21人	宮城野区保健福祉センター
8	健康づくり講座、相談	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談 	通年（食生活講話は12月10日実施）	12月のテーマ：毎日コツコツ骨貯金～骨粗しょう症について参加者19名・個別相談2件 他月の個別相談4件	若林区保健福祉センター
9	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病発症予防のための教室 	1～2月実施予定 3回		青葉区保健福祉センター

10	糖尿病予防啓発【新規】	①一般市民 ②給食施設	①世界糖尿病デー啓発 ②給食施設衛生管理研修会で糖尿病予防講話	①11月 ②6月	①-1 市民Cまつり 糖尿病クイズ 518人 ①-2 ブルーサークル啓発 啓発用グッズ配付 8618個 ②参加人数 42人	宮城野区保健福祉センター
11	糖尿病予防講座	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための講座 HbA1cまたは血圧が高めの方を対象として医師講話、食事、運動の3回コースで実施予定	1～2月実施予定		太白区保健福祉センター
12	高血圧予防講座	特定健診・基礎健診の結果、生活習慣改善が必要な者	・高血圧予防のための講座	2回コース 11/4 11/6	延べ39名	泉区保健福祉センター
13	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	月1回	延べ34件（見込み）	太白区保健福祉センター
14	健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	月1回 ミニ講話8月,10月,12月実施 2月予定	個別相談 延べ 12件 ミニ講話 延べ 37名	泉区保健福祉センター
15	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：10件 電話・来所での相談：300件	各区保健福祉センター 総合支所
16	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者	・仮設住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談 ・料理サロン（宮城野）	講話・相談会2回	参加延べ人数 23名 個別相談 3件	各区保健福祉センター 総合支所
				①健康応援団、サロン（講話） ②料理サロン（7月）	①参加延べ 412人 ②参加 10人	宮城野区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

・健康づくり関係のイベント、講座等で、和食などバランスのよい献立の考え方や、食事バランスガイドの活用方法の情報を発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康づくり 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月7日	662名 (栄養士会) 豆つかみゲーム 大人 85名 子供 109名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発	11月23日	一般参加 560名 スタッフ 150名 講演会 125名	宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回 高血圧 「1食2.5gの調理の工夫」 第2回 脂質異常症「食物繊維摂れていますか」 第3回 糖尿病 「糖尿病食は健康食」	8月6日 9月8日 10月12日	参加者 21名 参加者 16名 参加者 22名	宮城県栄養士会
4	栄養ヘルスダイヤル 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年	集計中	宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター、幼稚園、児童館、福祉協議会、支援センター等の栄養講話や、調理実習	① 通年 ② 通年 ③ 実施予定 時期は未定	①集計中 ②集計中 ③28ヶ所 730名	宮城県栄養士会
6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	月1回 通年	病院、診療所、福祉施設 公共施設に7万部配布	宮城県栄養士会
7	介護予防月間事業	一般市民	イベントへの参加 ・バランスのよい食事について展示 ・栄養相談（バランスチェック）	11月8日	栄養相談コーナー 39名	宮城県栄養士会
8	大豆セミナー	栄養士会会員 一般市民	大豆は世界を救う 講師：家森 幸男氏	10月5日 今年度限り	参加者 152名	宮城県栄養士会
9	健康づくり 提唱のつどい	一般市民	生活習慣病と食習慣について 栄養改善と食育 腸の働きとプロバイオティクス	10月25日 今年度限り	参加者 100名	宮城県栄養士会

10	市民センター・児童館の食育講座の講師派遣	一般市民	・調理実習や栄養講話	市民センター 児童館 コミセン等 8回実施 H27・2月5回 予定 H27・11月3回 コース予定		仙台市地域活動 栄養士会
11	リーフレット「非常時の離乳食」作成	一般市民	・リーフレット「非常時の離乳食」の作成	継続中		仙台市地域活動 栄養士会
12	子ども向け非常食啓発	一般市民	非常食試食 展示・バーラちゃん非常食BOOK紹介	11月24日災害 フォーラム参加	約100人	仙台市地域活動 栄養士会
13	男性のための料理教室	仮設住宅居住の男性	・仮設住宅入居の、1人暮らしの男性、高齢者のみの世帯の方を対象に、栄養のバランスについての知識を深め、簡単な調理法を知ること、閉じこもり予防のための交流のきっかけとなることをねらいとして、太白区役所で月1回講座を開催する。	7、9、10、12 月に実施 (1/30にも実施 予定)	延べ40名	太白区保健福祉 センター
14	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉セ ンター 総合支所
15	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・総合支所に設置	各区保健福祉セ ンター 総合支所
16	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	実施回数 10回	参加延べ人数 2,224名	各区保健福祉セ ンター 総合支所
17	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発	講演会 3回 パネル展 4ヶ 所	講演会参加延べ人数 205 名 資料配当等啓発延べ人数 2,134名	各区保健福祉セ ンター 総合支所
18	各種研修会、講座、相談事業における情報提供	一般市民	・健康教育や生活習慣病予防講座、健康相談などで、食事バランスガイドの活用方法などを普及	随時	各区役所、総合支所ごとに 随時実施	各区保健福祉セ ンター 総合支所
19	被災者向け健康情報紙の発行	仮設住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、仮設住宅等に配布する	通年	配付延べ枚数 宮城総合支所 623部 若林区 7,825部 太白区 3,260部 泉区 640部	宮城総合支所 若林区、太白 区、泉区保健福 祉センター

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

- ・店舗や施設内で、食生活情報や食事バランスガイドの活用方法などを発信《拡充》
- ・メニュー等への栄養成分表示等実施店（健康づくりサポート店）の登録推進

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案をすすめる「みやぎ生協の食生活提案」の紙芝居を改訂しました。実践として、「たべるたいせつ料理教室」を実施する。 		「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案をすすめています。「みやぎ生協の食生活提案」。実践として、「たべるたいせつ料理教室」は県内5ヶ所で「日本型食生活」をテーマに開催しました。参加者71人（仙台1回18人）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う 	食育活動委員会8回開催	食育に興味のあるメンバーが15人登録し、みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら「たべる・たいせつ料理教室」や「5ADAY食育体験ツアー」の運営を行いました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食情報の提供 	通年		日本チェーンストア協会東北支部
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの食育イベントでの食育サポーターの活動支援 	今年度はなし		宮城野区保健福祉センター
5	健康づくりサポート店推進事業	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー等へ栄養成分表示や食事バランスガイド表示をする店舗（健康づくりサポート店）の登録を推進 ・健康づくりサポート店を市民に周知，栄養成分表示等の活用方法などを啓発 	通年	登録数 503店舗 相談・指導件数 1件 登録PR活動 延べ298件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます
 ・保育指針に基づき、食事のマナー、食習慣、食事前後の衛生習慣などの働きかけ

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 各施設において、食育計画に基づいた活動計画を作成し、保育の中で食育を展開する 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	通年 通年（4～9月）	<ul style="list-style-type: none"> 年間食育計画・活動計画は全施設で作成し実施している。 食育活動実施状況は3月に各施設から集約予定。 朝食の働きかけ:122回, 7,919名 	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます
 ・作物を栽培・収穫し食べる体験
 ・収穫物を給食に利用
 ・市場の農水産関係業者による料理体験教室

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	年内実施予定		仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動【新規】	一般市民	・荒浜移転まちづくり協議会夏祭りでの食に対する啓発	7月27日		仙台歯科医師会
3	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> 畑作りの年間計画をたてる 子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	通年（4～9月）	<ul style="list-style-type: none"> 公立45施設計画立案 収穫した回数：1,603回（公立） 食した延人数：57,678名（公立） 	保育所 保育所連合会 子供未来局
4	食べる事が楽しくなる食育	園児と保護者	・おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく	通年	お便りにて、全園児103名	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験	7月 10月 11月	各100名 カレーパーティ 芋掘り 大根	
5	偏食を減らすための取り組み	園児	<ul style="list-style-type: none"> 食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る 	通年	約100名	幼稚園 私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します
 ・子育て世代向け、乳幼児・小学生とその保護者向けの体験講座《拡充》（保育所・幼稚園・児童館・市民センター・社会学級等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPO、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施	「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」年間各4回開催	3回開催、参加者61人、65人）親子・子どもを対象に、産消直結めぐみ野品やコープ商品の学習と調理実習を行う、「おやこdeおやつタイム」「親子キッチン」などを開催しています。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶんど」を活用した料理教室を開催	86回	1521名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	市民センター・児童館の食育講座の講師派遣 《①-E-1 再掲》	一般市民	・調理実習や栄養講話	市民センター 児童館 コミセン等 8回実施 H27・2月5回 予定 H27・11月3回 コース予定		仙台市地域活動栄養士会
4	父親育児参加推進事業 のびすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	6/22実施 12/7実施予定	6/22：5名（父親）参加 12/7：10名（父親）参加	子供未来局
5	母と子の食育教室（今日もバクバク元気っ子くらぶ）	幼児と保護者	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	3回 ①田子児童館 7月 ②岩切児童館 11月 ③柊江児童館 11月	参加延べ数 親子36組 ①親子17組 ②親子 9組 ③親子10組	宮城野区保健福祉センター
6	市民センターにおける講座等開催	男性や親子等	・調理実習や食に関する講座等に家族で参加することを通して、食事に関心を持ち、料理の仕方を身に付ける機会等を提供	通年	（H26年12月末までの実施状況は未集計）	教育局（生涯学習支援センター）
7	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や給食メニューを調理実習し、食の大切さについて学ぶ機会を提供	1回	12組（24名）参加「親子で作る夏野菜を使ったお昼ごはん」をテーマに実施。	教育局
8	仙台産農産物親子向けお料理教室の開催【新規】	小学生とその保護者	・仙台産農産物の認知度を向上し、地産地消を推進する ・調理器具の正しい使い方や食材、食文化に関わる知識を身につけ、食育の推進を図る	ガスサロンで3回開催予定 9月13日 12月21日 2月22日	9月13日参加者数 7組16名 12月21日参加者数 10組24名	経済局

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

- ・子供や親子を対象とした、産地見学、収穫体験、料理教室、スーパーマーケット体験
- ・地域のなかで幅広い年代が参加できる食育教室

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだがわかる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について、バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	12月23日		仙台市食生活改善推進員連絡協議会
2	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習 メニュー (主食) 桜海老の炊き込みごはん(主菜) 鮭と大根の和風スープ(副菜) 豆腐と野菜のチーズチャンプルー(デザート) パインのアップサイドダウンケーキ	12月13日	秋保地区住民 15名参加	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
3	ガス局料理教室への講師派遣	成人	・料理教室と栄養講話	未定		仙台市地域活動栄養士会
4	5A DAY食育体験ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5月から12月までで、仙台市内14小学校で37回実施	1,236人の児童が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
5	スーパーマーケット体験学習	小学生	・小学生を対象としたスーパーマーケット体験学習の実施	2回	小学生44名参加	日本チェーンストア協会東北支部
6	出前食育授業	小学生	・公民館に出向いて食育授業を実施	1回	小学生15名参加	日本チェーンストア協会東北支部
7	子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ	10月 1回 2月 1回予定	40名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-G-3 若い世代の食事づくり体験を応援します

- ・若者から若者に伝える講座
- ・関係主体が協働で実施する、若い年代対象の体験講座や体験型イベント

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代への食体験講座	子育て世代	・食生活の基礎を、調理実習等を交え楽しく具体的に伝え、実践につなげる	実施予定なし		太白区保健福祉センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

・保育所・幼稚園の給食の献立や行事に、行事食や郷土料理を取り入れ、給食の展示、献立表、おたより等で保護者に紹介

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	通年（4～9月）	取り入れたメニュー:295回 食した延べ人数：19,400名（公立）	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

・学校給食の献立に取り入れるとともに、献立表、給食だよりで保護者に紹介

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	随時	各学校において随時実施。	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

・地域のまつり、イベントでの情報発信
・伝統野菜、行事食の講座・学習会、新米試食会等地域の食材を活用した講座

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	6月、10月	宮城地区まつりでのレシピ紹介、試食提供 200食	宮城総合支所
2	保健センターまつりでの情報発信	一般市民	・市民センターまつりと共催で行い、地域の情報発信	10月 東中田、茂庭台、生出	延べ776名	太白区保健福祉センター
3	健康のつどいでの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置	11月21日（金）	試食 138名 七福煮、がんづき（もち風）	食生活改善推進連絡協議会（秋保） 秋保総合支所
4	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・地域子育て交流会で「ぼた餅（おはぎ）をつくろう会」を実施 《①-B-10再掲》 ・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 《①-A-2再掲》 郷土料理、手作りおやつを紹介 葉や土がついたままの野菜や芋とその種を展示	9月5日 10月29日	大人22名子供11名参加 514名参加	泉区保健福祉センター
5	市民センターにおける講座等開催	一般市民	・若い世代や転入者などが、地域に伝わる食材や料理、食文化等について学んだり、実際に調理する機会を提供する。併せて、世代間の交流、地域への関心や理解の深まり、地産地消促進等を図る。	通年	（H26年12月末までの実施状況は未集計）	教育局 （生涯学習支援センター）
6	地元農家に伝わる料理の講習会開催	一般市民	・仙台市農業園芸センター加工棟を使用して外部講師による市民を対象にし、地元で伝わる料理で農家が昔から作っている家庭料理の講習会を開催する。	通年（8回以上）	6回開催 延べ56名参加	経済局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

- ・地域、団体、行政の協力体制により、保育所、学校給食に地場産品を活用

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。 	通年 調査実施 6月、8月、11月、2月	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者から直接購入：8か所 ・地場産物の使用状況 6月:26.8%、8月:30.0% 	保育所 保育所連合会 子供未来局
2	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。 	6月	単独調理校、給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施。 【地場産物活用率27.0%】	教育局
3	JA仙台食農教育プラン「2013」の実践	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の食材（米・野菜等）の供給 	通年		農業協同組合

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

- ・スーパーマーケットの県産農林水産物を活用した商品開発や、消費者向け学習会、伝達活動
 - ・テレビ番組、ホームページでの情報発信
 - ・せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）の普及
 - ・地産地消サポーター事業
 - ・市場見学への対応

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一土曜日の「地産地消の日」に、「お米の日」として米生産者による試食推奨活動、商品のPRを行う。毎月15日に「めぐみ野」（産直品）の普及活動の日に設定し普及活動に取り組んでいます。 	めぐみ野品（地場商品）の普及活動を毎月15日に開催	普及の活動は97回840人が参加	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う 	食に興味のあるメンバー59人が登録し、みやぎ生協の食品の安全総合政策を学んで他のメンバーに伝える活動を行いました。養成講座及び産地研修会(計6回)に参加して、メンバーのつどい会場でかたりべ活動を行いました。		宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）

3	食育体験ツールの提案	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の「新・食生活提案」の紙芝居を提案。親も子も気軽に取組めるきっかけづくりとして好評で、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる 	野菜の花から野菜の名前をあてたり、どこを食べるかなどを考えるツールやみやぎ生協の「食生活提案」の紙芝居を、たべたいせつ料理教室やつどい会場で活用しました。秋のつどいでは「いちごの花」「みやぎのたべものかるた」が活用されました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）	
4	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 県産農産物、加工品を活用した商品開発、販売による地産地消の推進 		日本チェーンストア協会東北支部	
5	NHKテレビひるはび「旬の金曜日～市場中継～」	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県産を中心とした旬の食材と、その美味しい食べ方等を紹介する 	放送回数 35回	経済局	
6	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）の普及	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ①各種イベントでせんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）の普及。HPでの啓発。生産者や販売者、飲食店へのマークの普及 ②緊急雇用創出事業による「仙台産農産物PR事業」で、「仙台産農産物食フェア」を開催する等して、地産地消の推進、せんだい産農産物表示マークの普及を行う。 	①随時 ②6月～3月 予定	②「仙台産農産物食フェア」 第1回（6月5日～7月31日）市内2店舗で開催、 第2回（11月1日～30日）市内2店舗で開催	経済局
7	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消推進サポーター募集登録、パンフレット等の配布 	随時	各種サポーター登録人数（ ）内は今年度新規登録人数 ・消費者230名（11） ・生産者81名（2） ・販売店88名（1） ・飲食店70名（0）	経済局
8	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらう。 	実施時期(回数) ①随時 ②8月（2回）	①管理課 31団体 479名 ②業務課（夏休み親子市場見学会） 30組 73名	経済局
9	ホームページでの情報発信	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。 	随時	学校給食週間における各校の取組みを踏まえ、今後、内容の更新を予定している。	教育局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

- ・生産者と消費者の交流イベント
- ・大学生や一般消費者対象の産地見学

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	産地見学会 2014年11月までに79回開催	生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習しました。参加人数のべ2542人	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	キッズスクール	組合員の子ども	・子ども達が水環境について学ぶ。その一環として農産生産者の圃場を訪ね、生産交流を行う。	7、8月 4回	74人	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	2014年4月～12月 12回	75人	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や、農業について専門家の話を聞き、自分達の食生活を見直す	2014年4月～12月 10回	89人	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
5	産地体験会	大学生	・学生食堂で利用している食材の産地体験会を開催し、生産者と交流しながら食材の収穫を行う 7月6日（日）岩手平泉トマト産地体験 10月4日（土）～5日（日）岩手一方井のキャベツ収穫体験	年2回 7月・10月	7月 6会員35名参加 10月 6会員24名参加（職員含む）	宮城生活協同組合連合会（大学生協）
6	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ②その他	6月から11月 ①年5回 ②年1回	①5回開催 延べ33店舗出店	経済局
7	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・仙台市内の生産現場や、地産地消に取り組む販売店や飲食店の見学を行う。	5/31種まき体験 8/1現場見学 8/9収穫体験 8/18現場見学 9/3種まき体験 11/1現場見学 11/5収穫体験 11/19現場見学	消費者サポーター22名参加 消費者サポーター19名参加 消費者サポーター20名参加 販売店・飲食店サポーター11名参加 消費者サポーター21名参加 消費者サポーター22名参加 消費者サポーター16名参加 生産者サポーター13名参加	経済局

8	地産地消講演会	一般市民	・地産地消を推進し、仙台産農産物の消費拡大を図るためのイベント。収穫まつりと同 時開催	11月11日	参加者数 66名	経済局
9	収穫まつり開催	一般市民	・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11月11日	出展数 26店舗 来場者数 8,633名	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

- ・農業施設見学、農業体験の場の提供と農作業体験指導
- ・レクリエーション農園、学童農園等の運営支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	・メンバーが家庭で稲を育てる。パケツ稲栽培コンテストを実施、610家族が参加しています。メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 ・産地で春に田植え体験、秋には稲刈り体験を実施	パケツ稲栽培コンテスト 10月19日開催。	18店舗でパケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取組みに621家族が参加。めぐみ野たんぼの学校、田植え体験65人、たんぼの生き物調査93人、稲刈り体験71人	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	農業体験の実施	一般市民	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りを行います。	2014年4月～12月 150回	50人	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	JA仙台食農教育プラン あぐり塾の開催	一般市民	・第4期生23名を募集し稲作・野菜（プランター）・果樹剪定と、搾乳体験、座学講習 など ◆ 稲作：田植え、生きもの調査、稲刈り、新米試食会等 ◆ 野菜：プランターでコンパニオンプランツ（シトウ・シソ・リーフレタス・カモミール・マリーゴールド）1鉢 実施 → 5月と8月に苗を配布 ◆ 果樹：着色管理と収穫作業 ◆ 座学：施設見学、豆腐づくり	◆ 4/19開塾式 ◆ 5/17田植 ◆ 6/21林檎の摘果作業・搾乳体験 ◆ 7/12たんぼの生き物調査 ◆ 8/23施設見学 ◆ 9/20稲刈り ◆ 10/18新米試食会 ◆ 11/29林檎の収穫 ◆ 12/17豆腐づくり講座 ◆ 1/17修了式予定	9回開催し、延べ140名参加。野菜栽培は2回に分けて苗を配布。肥培管理等の指導を受講生は自宅で栽培を実施した。	農業協同組合
4	JA仙台食農教育プラン 学童農園	小・中学生	1. 農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆ 田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小 ◆ 生きもの調査 新田小 ◆ だいこん種まき 白百合学園中等部 ◆ 稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、新田小、生出小、大沢小 ◆ じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園 2. 出前講座（野菜栽培について）市内幼稚園保育士研修会に講師参加	◆ 田植え→5月中旬～下旬 ◆ 生き物調査→7月実施 ◆ 稲刈り→10月実施 ◆ 大根&出前講座→8月実施	各地区の青年部が主に指導を実施している。	農業協同組合

5	J A仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小・中学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座(750gの大豆使用) ◆年内 → 泉ヶ丘小、多賀城東小、福室小、将監中央小、中野栄小、人来田小、利府しらかし台小、八木山南小、榴岡小 ◆1月以降 → 高砂小、七郷小、西多賀小、生出小、南光台東、桂小、若林小、中山小、虹の丘小を予定	6月上旬に各市町村の教育委員会を通じ、案内書を送付。その後、学校と日程を調整し10月下旬から講座を開始～3月上旬まで実施。延べ12日間、15回開催。	児童数519名	農業協同組合
6	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応)	随時	・平成26年度学童農園実施校 78農園65校(中学校2、小学校42、幼稚園14、保育園7) ・レクリエーション農園開催相談5件、補助1件	経済局
7	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動	通年 各学校、学年による		仙台市PTA協議会

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

・生産者が地産地消推進、地域活性のために実施する栽培指導、体験ツアー、料理教室等への支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・「食のみやぎ復興ネットワーク」を結成し、宮城県内の農業・漁業関係者や食品関連産業が、互いに励ましあい、県内素材を使った地元加工品の商品開発を行う		食の分野の復興を支えようと「食のみやぎ復興品」を2014年度も開発・供給しました。塩害を受けた畑の復興と伝統野菜の復活の仙台白菜プロジェクト。サバだしラーメン、いちご復興記念わたりいちごワイン500ml、宮城県産雪菜ととろろ昆布のおひたし、宮城県産曲がりねぎとタコの酢みそ和え、亘理町で生産したそば粉を原料とした「復興亘理そば」等を「食のみやぎ復興ネットワーク」プロジェクトとして、供給を行ないました。	宮城生活協同組合連合会(みやぎ生協)
2	あいごはんアイデア集作成 《①-A-3再掲》	組合員	組合員から寄せられたあいごらんど商品を使ったアイデアを募集し、そのアイデア集を作成し、組合員に配布した。	2014年4月～12月 1回	20人	宮城生活協同組合連合会(あいこーぷみやぎ)
3	地元野菜を取り入れた弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生とオジマスライフーズ穂野かとの共同事業を展開。女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた弁当を考案し、穂野かが作製した弁当2種を夏季限定で1日30食を販売した。レシピを考える際には被災地復興支援と野菜不足解消の一助となるように地産地消を意識して夏の旬の野菜を豊富に使用した。	7月19～31日の約2週間	女子大生らは授業の合間をみて販売に携わった。食品添加物の少ない身体に優しい弁当を提供した。	仙台白百合女子大学

4	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・直売やイベントを通して市内産の農産物を販売することやHPでの活動紹介で地産地消を推進する。	随時		経済局
5	エコファーマーフェア	一般市民	・仙台市内のエコファーマーが栽培した農産物の販売	11月6・7日	延べ12店舗出店	経済局
6	米オーナー事業	一般市民	・市民が米のオーナーとなり、農家の指導を受けながら米の栽培を行い、収穫した米を受け取る。 田植え、生育見学、稲刈り	市内4ヶ所 田植え5月 生育見学会8月 稲刈り9・10月	13組47名参加 1組5名参加（台風の影響で一部のみ実施） 15組40名参加	経済局 仙台市認定農業者連絡会 仙台市産業振興事業団
7	保育所等サンマ教室への協力	保育所等入所児童	・おさかな普及協会が、保育所等に出向き、サンマの炭火焼を体験させ、子供達の魚食への興味と関心を深めてもらう	実施時期 9～11月 実施回数 述べ12回	参加団体：5団体 参加人数：1072名 提供サンマ尾数：1200尾	経済局 （事業主体：仙台おさかな普及協会）
8	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	11月20日	田子小学校 5年生 83名	経済局 （事業主体： ・農業協同組合 ・榊宮果 ・仙台やさい・くだもの普及会）
9	Morning Vegetable～朝食に野菜を～のレシピ配布	一般市民	・食育推進連携事業の一環として、たいはく朝市の来場者に、販売される旬の野菜を使った野菜料理レシピを、朝市の出店者を通して配布する	4～12月 (月2回)	レシピ28種 延べ1680枚発行	太白区保健福祉センター

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

- ・パンフレットでの情報提供や街頭での呼びかけ
 - ・地域への出前講座や食の安全サポーター、一般消費者向けの講座等
 - ・食品の安全性に関する相談

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	消費者市民講座 食の安全安心について	一般市民	講話：食の安全安心の取り組み・食の安全安心そして安定とは？・食料は輸入できても環境は輸入できない 講師：宮城教育大教授 小金澤孝昭氏	10月21日 (火)	参加者 16名	仙台・みやぎ消費者支援ネット
2	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報を提供し、注意喚起や意識啓発を促す。	年6回発行	発行時期：5、7、9、11、1、3月 発行部数：@9,000部×6回 (7月は1,800部増刷)	市民局
3	ホームページによる 情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
4	消費生活センター内 情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関のほか、各種団体の啓発資料等を設置し、市民への情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
5	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食品に関する様々な情報を市民に発信する。 ○消費生活講座の開催	11月18日	テーマ：「今こそ知りたい！食の安全・安心と食品表示の話」 参加者数：79人	市民局
6	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・幼児期から成人まで、発達段階に応じて消費生活の知識を楽しく学べる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」を開設し、情報提供を行う。	開設日 H26年3月7日	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校に配布。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）	年1回 (3月予定)	配布予定部数 ①10,000部 ②10,000部	

7	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	【健康福祉局】 393件実施（12月18日現在） （各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所） 【経済局】 検体数57（野菜36、林産物21）	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
8	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	6月～12月 通年	【子供未来局】 保育所給食食材サンプル検査：157件掲載 保育所給食一食全体検査：196件掲載 【教育局】 使用する食品の検査結果、1食分検査結果の情報を随時発信している。	子供未来局 教育局
9	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）6,000部作成 ノロウイルスって知ってる？22,000枚作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
10	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
11	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	H27年1月1回(予定)	平成27年1月15日（予定） 「ノロウイルス食中毒について」	健康福祉局 各区保健福祉センター
12	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申込みの都度	市政出前講座：4回、168名 市民向け食品衛生講習会：25回、398名 （9月末現在）	健康福祉局 各区保健福祉センター
13	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
14	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年6回（予定）	4回実施 （1月、3月実施予定）	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います
 ・食品営業施設、給食施設を対象とした監視指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	65,799件（9月末現在）	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	特定給食施設 延べ131件 その他の給食施設 延べ94件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します
 ・ホームページやファクシミリによるタイムリーな情報の提供

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリによる食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリによる食品衛生情報の提供	随時実施	51回、4784件 （9月末現在）	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）6,000部作成 ノロウイルスって知ってる？22,000枚作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います
 ・食中毒の危険性の高い食品を取り扱う営業者を対象とした業種毎講習会

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	実施	102回、3,669名 （9月末現在）	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	11月5日	122名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター